

データから見る

It sees from data

2人に1人身近！ 精神障害の方たち

30人に1人は精神障害の人

日本にはどれくらい精神障害の方がいるかご存じですか？ 在宅と施設入所をあわせると、392万人、じつに**30人に1人**が精神障害の方です。

また、日本の精神障害の方の数は増加傾向にあります。とくにうつ病など、気分障害の患者数が増え、長引く不況などによる労働環境の悪化や、生活不安などによるストレスの増加が原因と考えられます。また、平均寿命が長くなったことで、アルツハイマー病の発症も増えています。

障害者数(推計)

	総数	在宅者	施設入所者
身体障害者	392.2万人 (31人)	386.4万人 (30人)	5.8万人 (0.5人)
知的障害者	74.1万人 (6人)	62.2万人 (5人)	11.9万人 (1人)
精神障害者	392.4万人 (31人)	361.1万人 (28人)	31.3万人 (2人)

注1：()内数字は、総人口1000人あたりの人数（平成27年国勢調査人口をもとに算出）。

注2：精神障害者の数は、ICD-10の「V 精神及び行動の障害」から知的障害（精神遅滞）を除いた数に、てんかんとアルツハイマーの数を加えた患者数に対応しており、厚生労働省「患者調査」の外来患者を在宅者、入院患者を施設入所者とみなしている。

出典：平成29年度障害者白書

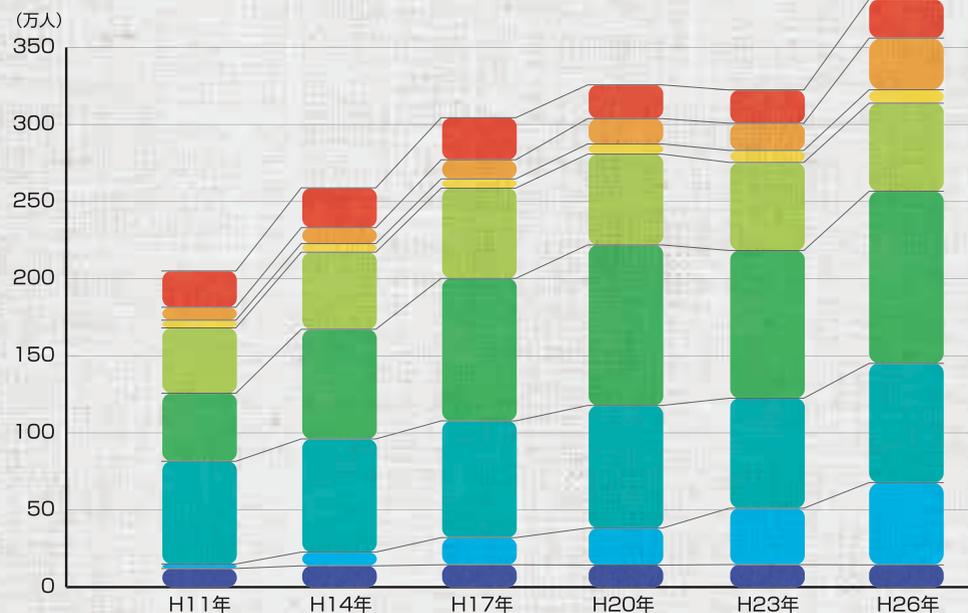
精神疾患はだれでもかかりうる病気です

人は生きていく限り、さまざまなストレスにぶつかります。身近な人を亡くしたり、仕事がうまくいかなかったり、失恋したり…。だれでも気分が沈みます。たいていの場合は、「しかたがない」「なんとかかなる」と気持ちを立て直しますが、

そういった心の働きがうまくいかず苦しんでいるうちに、精神疾患になることがあります。精神疾患は、特別な人がかかるものではなく、**だれでもかかる可能性のある病気**なのです。

精神疾患の患者数

うつ病などの気分障害やアルツハイマー病が増加しています。



精神疾患の患者数総数

204.1 258.4 302.8 323.3 320.1 392.4

- てんかん
- その他
- 薬物・アルコール依存症など
- 不安障害など
- うつ病など
- 統合失調症など
- 認知症(アルツハイマー病)
- 認知症(血管性など)

H23年の調査では宮城県の一部と福島県を除いています

資料：厚生労働省「患者調査」

精神障害者保健福祉手帳って

なんらかの精神疾患（てんかん、発達障害などを含みます）により、長期にわたり日常生活や社会生活への制約がある方を対象に交付されます。

精神障害の方の自立と社会参加の促進を図るため、さまざまな支援策が講じられています。申請は市区町村役場の担当窓口で行い、各都道府県・政令指定都市

で審査が行われます。

障害の程度の重いものから順に、1級、2級、3級となります。障害等級の判定は、精神疾患（機能障害）の状態とそれともなう生活能力障害の状態の両面から総合的に行われます。国民全体の約150人に1人の割合で取得されています。